



黒潮町長
大西 勝也

年頭のごあいさつ



明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新年を穏やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと年明け元旦には石川県能登地方を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生、多くの人命が失われました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともにご遺族の皆様には心よりお見舞いを申し上げます。また復旧の途にありながらその爪痕が残る中、9月には記録的豪雨が同地方を襲いました。当町においても発災後の対応をはじめこの災害から多くのことを学ばなければならず、引き続き強力に防災を進めてまいります。

さて、世界に目を向けますと、ウクライナやガザ地区では未だ戦禍がやむことなく中東シリアでは新たな政情不安の状況が生み出され、世界情勢の不透明感が増すばかりです。これ以上犠牲者を増やさぬよう一日も早い収束と世界平和を願いながら不戦の誓いを新たにするとところです。

国内に目を向けてみますと、新たな政権が誕生し防災や地方創生を進めながら活力ある経済を実現することとしています。国の動向を注視しながら、地方におきましてもポストコロナを意識しつつ、各種産業団体、従事者の皆様と対話を重ねながら実効性の高い経済施策を展開し活力ある町づくりを進めて行かなければなりません。

1人も取り残すことなく誰もが住み慣れた地域で幸せに住み続けられる町づくり実現のため積極的に地域を歩き、地域の声に耳を傾けながら皆様とともに町づくりに邁進してまいります。

来年(令和8年3月20日)には黒潮町合併20周年を迎えます。旧町それぞれの文化を大事にしつつ、一つの町としてともに歩んできた歴史の節目となります。あらためて先人に感謝しながら次の世代への責任を果たしてまいります。黒潮町が抱える課題は福祉、教育から産業、防災、人口減対策等多岐にわたりますが、これまで多くの課題を解決しながら町を作り上げてこられた諸先輩方同様、今後いかなる大きな課題が生じようとも、住民の皆様と一致団結して事に臨めば解決できない課題はないと強く信じています。黒潮町のさらなる発展に向け、住民の皆様におかれましてはより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、寒さも本格化してくる中、くれぐれもご自愛いただきますとともに今年1年が皆様にとりまして平穏で幸せな年となりますことを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

